

新しく市長となった山本治さんは、A棟に平和堂を移転させる案を提示しましたがうまくいかず、さらに長崎屋の出店案がだされました。これで調整を重ねようやく解決しましたが、この間、実に六年を費やしました。

しかし長崎屋は間もなく行き詰まり閉店してしまい、また長い間空きビルの姿をさらす結果となりました。今はホテルになっていますが、やはり「大型店だよりの町の活性化はできない」と唱え続けた揚原さんの考えは正しかったわけですね。でも、そのときは、誰も気がつく筈もなかったのです。

川中：大店法ができたのが昭和四十八年で、大型店の出店調整は商工会議所に設けられた商調協(商業活動調整協議会)で調整する仕組みでした。A棟問題では市の主張が強くて地元での折り合いが付かず、当時の大阪通産局に何回も訪れたり、通産省(現経産省)で審議官にも会って取りまとめを訴えたものでした。

今になってみると、もう福井県は都市の郊外化が進んで、全国でトップとなってしまっ、中心地の活力は極端に失われています。国もコンパクトシティの政策を打ち出すなど、活性化に力を注ぐ時代になりましたね。在りし日の揚原さんの理念が正しかったと思いだされます。

斎藤：揚原会頭は、商工会館建設時に、一千万円以上寄付しました。しかし、あと二千万円位は足りないとい

踏んでいて、自分で出す腹をくくっていました。

古希と自社の創立記念で、美術館を建設して寄付しましたが、この発想もすごいと思いました。

### 創立二十周年記念事業 相撲巡業について

山本：創立二十周年記念事業で大相撲がありました。この事情を説明願います。

斎藤：常議員会で決定の後、その筋に話を持ちかけ、国技館にも行き交いました。全会員に二枚ずつ、四千六百枚のチケットを配布しました。私が、送り迎えや謝金の受け渡し等、全部を担当しました。謝金は、前渡ししないと成立しなかったため、聴琴閣へ泊まっていた初代若乃花に銀行員を伴い渡しました。臨時列車で三百人来て、バスやタクシーは、すべて貸切り。大変でした。鯖江市総合体育館が出来てもまもなくでした。昭和五十四年十月に開催し、四横綱と写真もとりました。いい思い出です。



(S54) 四横綱と揚原会頭



### 揚原会頭以後の会頭

山本：昭和六十年年代に入ると、白崎元就さんが会頭に就任されました。病気でお亡くなりになり、次に佐々木松志さんが会頭に就き、第十三期の任期を半年余残し、勝倉彰三さんが会頭を勤めました。



山本 副会頭

斎藤：世界体操鯖江大会目前で佐々木会頭が辞任し、急遽、勝倉さんをお願いに行った経緯があります。勝倉さんの会社から反対を受けました

が、何とか引き受けてもらいました。世界体操を終えて、再任してもらえなかったが、半年余で退任しました。諦めざるをえませんでした。そこで、当時、参与の酒井利廣さんをお願いしました。参与からの抜擢で、難儀しましたが、酒井さんには感謝しています。

### 日本団体生命の石山事件

山本：日本団体生命の石山事件についてですが、最初の「損害賠償請求事件」は、石山眼鏡と石山技研の元社員一人が、鯖江商工会議所・日本団体生命・石山眼鏡を相手取り、訴訟しました。

結果、石山眼鏡元社員の請求は棄却、石山技研元社員に百二十二万円と利息の支払命令がでて、結審しました。石山技研元社員分は、日本団体生命が払ってくれました。

次の「解約手当金請求事件」は、石山眼鏡元従業員五十八名が、鯖江商工会議所を相手取り、訴訟しました。判決で、鯖江商工会議所に約五千万円の全額支払命令が出され、直ちに控訴しました。仮執行を免れるため約三千万円の供託金を納めました。控訴の後、裁判所より、同意和解金支払約四千万円の出され、両者同意し、当所は和解金を支払いました。

この後、当所が日本団体生命から変わったアクサを相手取り、訴訟しました。結果、アクサより調停による話し合いの提案があり、当所が支払った約四千万円の和解金をアクサが、支払ってくれました。

斎藤：「解約手当金請求事件」の判決文は、私が悪いように見えます。私は、直接関わったことはなく、担当者が石山の社長と交渉していましたが、専務だったため、私の責任にすぎただけです。

しかし、お金は返ってくる、心配は全く要らないと最初から思っていました。

山本：「解約手当金請求事件」の裁判では負けました。アクサを訴えて戻ってきました。

斎藤：表面的に会議所の対応がまずいのは確かでした。ただ、最後は、日本団体生命の本社社長が「絶対会議所に迷惑をかけない」と私に約束していました。本社にいわば話は早かったのですが、裁判に負けたから周りが騒いだだけです。

山本：結果的に日本団体生命からアクサ生命へ経営者が変わった。それは大きかったのではないですか。

斎藤：そうそう、それはありました。しかし、会社が変わっても日本団体生命時代の社長が、社長を引き継いでいましたから、最終的にお金が戻ったと思います。

山本：はい、斎藤さんいろいろとご苦労はあったとおもいますが、最終的にはアクサ生命に変わったことが、裁判にも非常に大きな影響があったと思います。

斎藤：全国の各会議所の専務にこの件をどう思つかを問い、アクサに持つていこうとまで実は考えていました。もちろん、一番悪いのは石山社

会議所ホームページ URL <http://www.sabaecci.or.jp/>

紙 OA機器・オフィス家具  
文具・日用雑貨・結納  
有明社 **ニシワ** 紙文具

2430

めがね文具マン  
Glasses stationery man

PR  
私、めがね文具マンは鯖江で誕生しました。だからこそ心がななるその時までこの鯖江に密着した活動を頑張っています。よろしくお願致します。

TEL : (0778) 51-2430  
FAX : (0778) 52-8943

野村税理士事務所  
(株)野村マネジメントプランニング

税理士 野村 一 榮  
税理士 野村 茂 三

〒916-0021  
鯖江市三六町2丁目9-1  
TEL (0778) 52-3500(代)

パソコンが起動しなくなった!  
大切なデータが消えてしまった!  
そんなときには...

データ復旧サービスをどうぞ!

壊れたPCから大切なデータを救います  
あきらめずにはお問合せを...

(株)エムディエス  
鯖江市本町1丁目3-26  
http://www.LP-MDS.com/  
info@LP-MDS.com

TEL 0778-51-9800  
FAX 0778-51-9802